

ServerView Suite V10.09.12

更新履歴

版数	変更内容	日付
初版	新規作成	2010年1月21日
2版	格納ソフトウェアに SVIM 追加、SVIM 留意事項 (5)~(13)追加	2010年6月30日

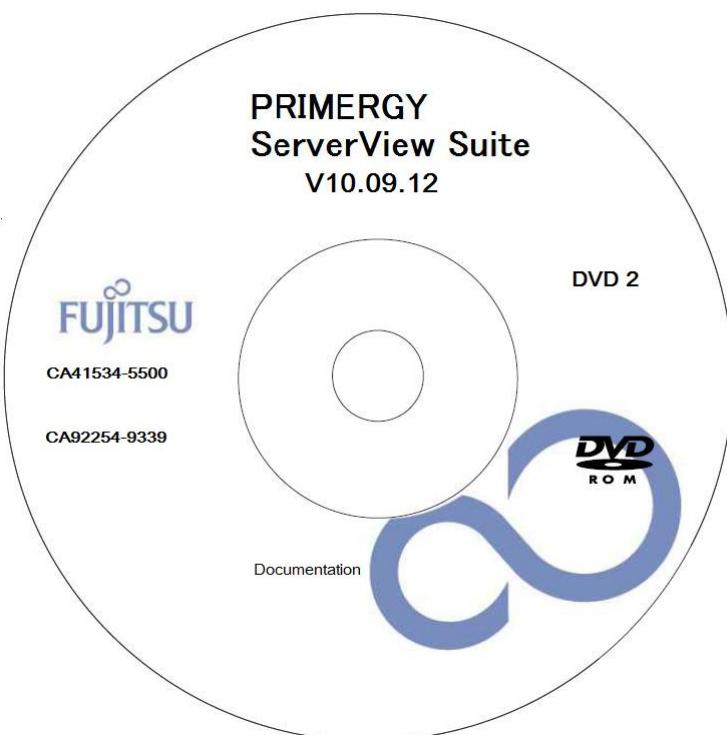
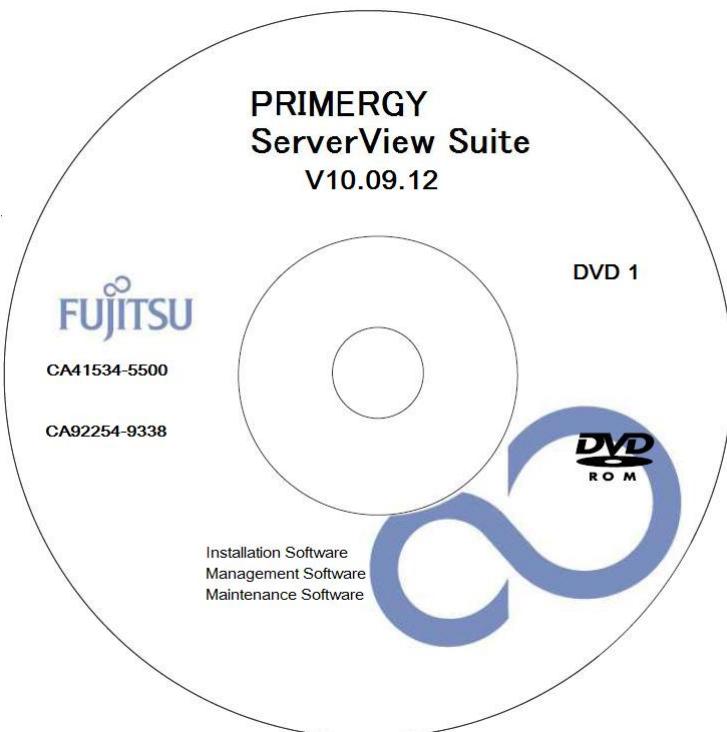
1. 対象 OS および対象機種

対象 OS	対象機種	
	TX150 S7	RX100 S6
Windows Server 2003 R2, Web Edition(SP2)	○	○
Windows Server 2003 R2, Standard Edition(SP2)	○	○
Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition(SP2)	○	○
Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition(SP2)	○	○
Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition(SP2)	○	○
Windows Web Server 2008(32-bit)	○	○
Windows Server 2008 Standard (32-bit)	○	○
Windows Server 2008 Enterprise (32-bit)	○	○
Windows Web Server 2008(64-bit)	○	○
Windows Server 2008 Standard (64-bit)	○	○
Windows Server 2008 Enterprise (64-bit)	○	○
Windows Small Business Server 2008 Standard(64-bit)	○	○
Windows Small Business Server 2008 Premium(64-bit)	○	○
Windows Essential Business Server 2008 Standard(64-bit)	○	×
Windows Essential Business Server 2008 Premium(64-bit)	○	×
Windows Web Server 2008 R2(64-bit)	○	○
Windows Server 2008 R2 Foundation (64-bit)	○	○
Windows Server 2008 R2 Standard (64-bit)	○	○
Windows Server 2008 R2 Enterprise (64-bit)	○	○
Windows Server 2008 R2 Datacenter (64-bit)	○	○
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	○	○
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	○	○

2. 格納ソフトウェア

	Windows	Linux
ServerView Agents	V4.91.16	V4.91.16
ServerView Update Agent	V4.91.01	V4.91.01
ServerView Operations Manager	V4.91.09	V4.91.09
ServerView RAID Manager	V4.3.6	V4.3.6
DSNAP	V3.0L40	-
ソフトウェアサポートガイド	V2.0L40	-
RAS 支援サービス	V5.1L13-01	V3.1.2-01
HRM / server	5.0.1	5.0.1
富士通 Linux サポートパッケージ	-	1.0-0
ServerView Installation Manager	V10.09.12	V10.09.12

3. 媒体



4. 留意事項

■ServerView Operations Manager の留意事項

- (1) 本 DVD に格納されている ServerView Operations Manager は、2010 年 1 月以降に発表された装置(型名)にのみ、インストールすることができます。
2009 年以前に出荷が開始された装置(型名)には、本 DVD に格納されている ServerView Operations Manager をインストールすることはできません。
- (2) ServerView Operations Manager のサーバリスト画面に BX600/BX900(マネージメントブレード)を登録している場合、BX600/BX900 のアップデートステータス欄にアップデートアイコンが表示されることがあります、現状アップデートマネージャによる BX600/BX900 マネージメントブレードファームウェアのアップデートはサポートしておりません。
- (3) アップデートマネージャ画面のツリービューに、BX600/BX900(マネージメントブレード)がアップデート対象として表示されることがあります、現状アップデートマネージャによる BX600/BX900 マネージメントブレードファームウェアのアップデートはサポートしておりません。
- (4) ダウンロードマネージャ画面にて、Update Agent がインストールされていないサーバ(アップデート非対象サーバ)が表示されることがあります、それらのサーバについてアップデートマネージャによるアップデート処理は実行できません。
- (5) アップデートマネージャにて、FSC_SCAN パッケージのアップデートは現状実行できません。

■ServerView Agents の留意事項

- (1) 本 DVD に格納されている ServerView Agents は、2010 年 1 月以降に発表された装置(型名)にのみ、インストールすることができます。
2009 年以前に出荷が開始された装置(型名)には、本 DVD に格納されている ServerView Agents をインストールすることはできません。

■ServerView Installation Manager(SVIM)の留意事項

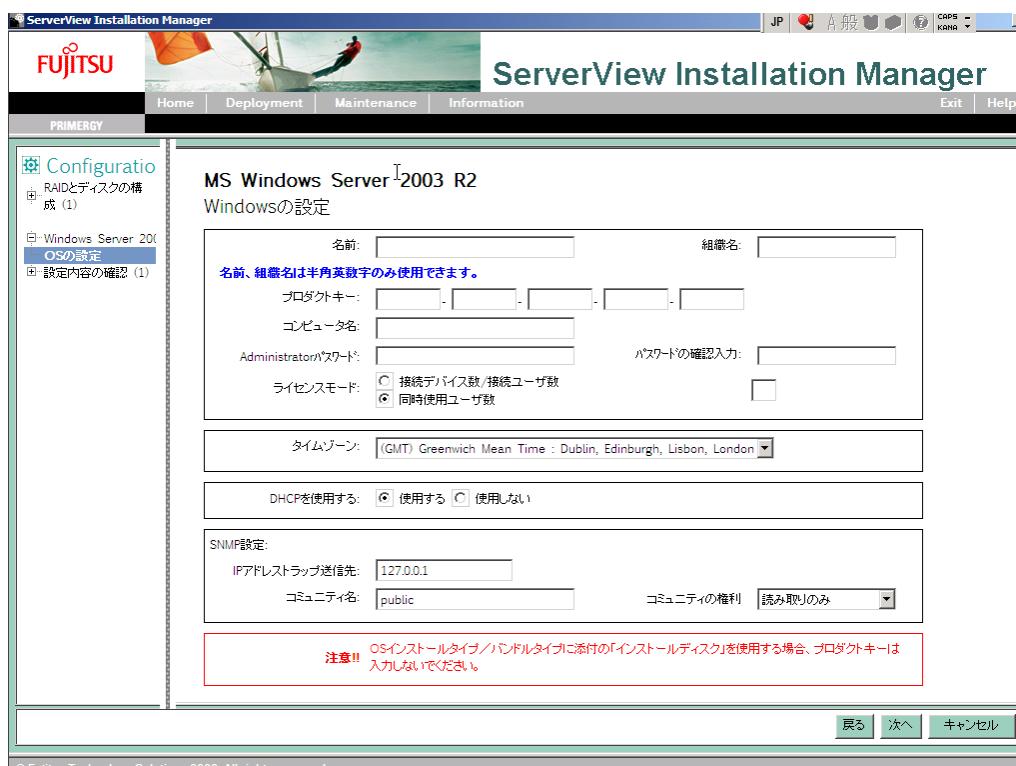
(1) SVIM では Windows Server 2008 Service Pack2 がインストールできません

SVIM を使用して Windows Server 2008 Service Pack2 をインストールすることはできません。
SVIM で Windows Server 2008 のインストールが完了後、手動でインストールしてください。

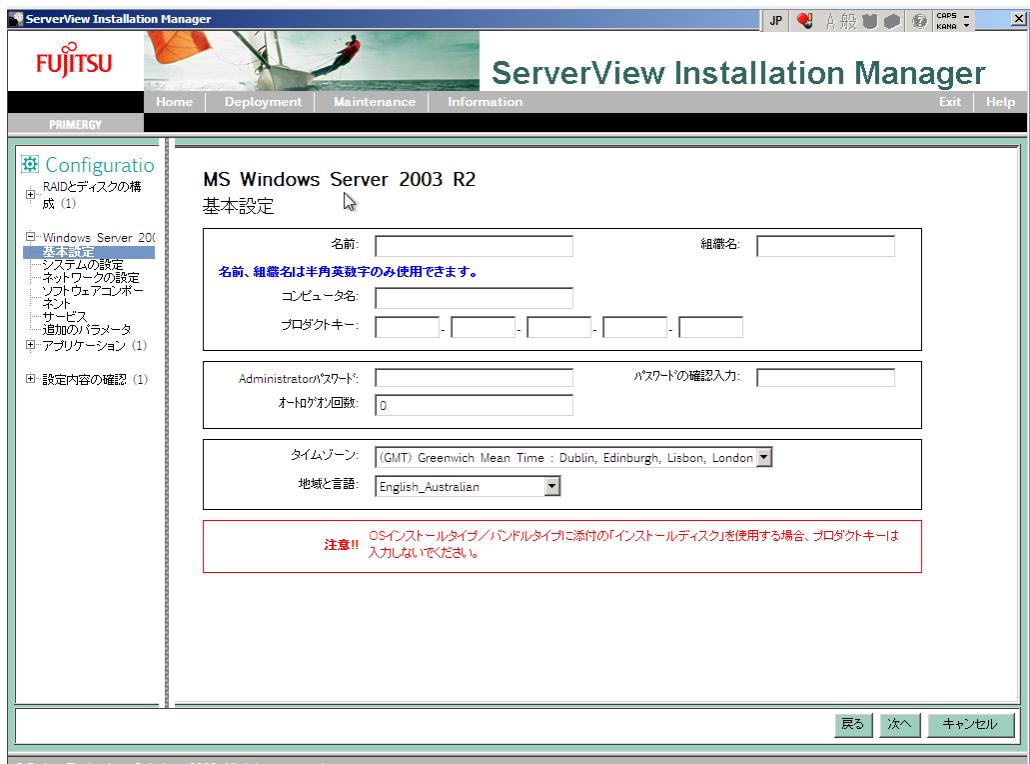
(2) SVIM を使用して Windows Server 2003 をインストールする場合、名前、組織名に日本語を入力することができません

SVIM を使用して Windows Server 2003 をインストールする場合、名前、組織名に日本語を入力することができません。
半角英数字で入力を行ってください。

クイックモード:



ガイドモード:



(3) SVIM にて Windows インストールタイプの開封を行った場合、自動ログオンが有効になっています

SVIM にて Windows インストールタイプの開封を行った場合に、開封処理完了後、自動ログオンが有効になっています。ログオフ、または、再起動した場合、最初の 5 回だけ自動ログオンされます。6 回目以降は自動ログオンされません。すぐに手動ログオンに変更したい場合は、以下の方法で自動ログオンを無効にしてください。

①notepad を起動する。

「スタート」→「ファイル名を指定して実行」→“notepad.exe”と入力し「OK」ボタンを押す。

②以下のテキストを貼り付ける。

```
Windows Registry Editor Version 5.00
```

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon]
"AutoLogonCount"=dword:00000000
```

③以下のファイル名でファイルを保存する。

C:\atlogoncnt0.reg

④保存したファイルを実行する。

「スタート」→「ファイル名を指定して実行」→“C:\atlogoncnt0.reg”と入力し「OK」ボタンを押す。

⑤以下の確認画面が表示されるので、「はい」ボタンを押す。



⑥以下の画面が表示されるので、「OK」ボタンを押す。



⑦コマンドプロンプトを起動し、保存した”C:\atlogoncnt0.reg”ファイルを削除する。

「スタート」→「ファイル名を指定して実行」→“cmd”と入力し「OK」ボタンを押す。

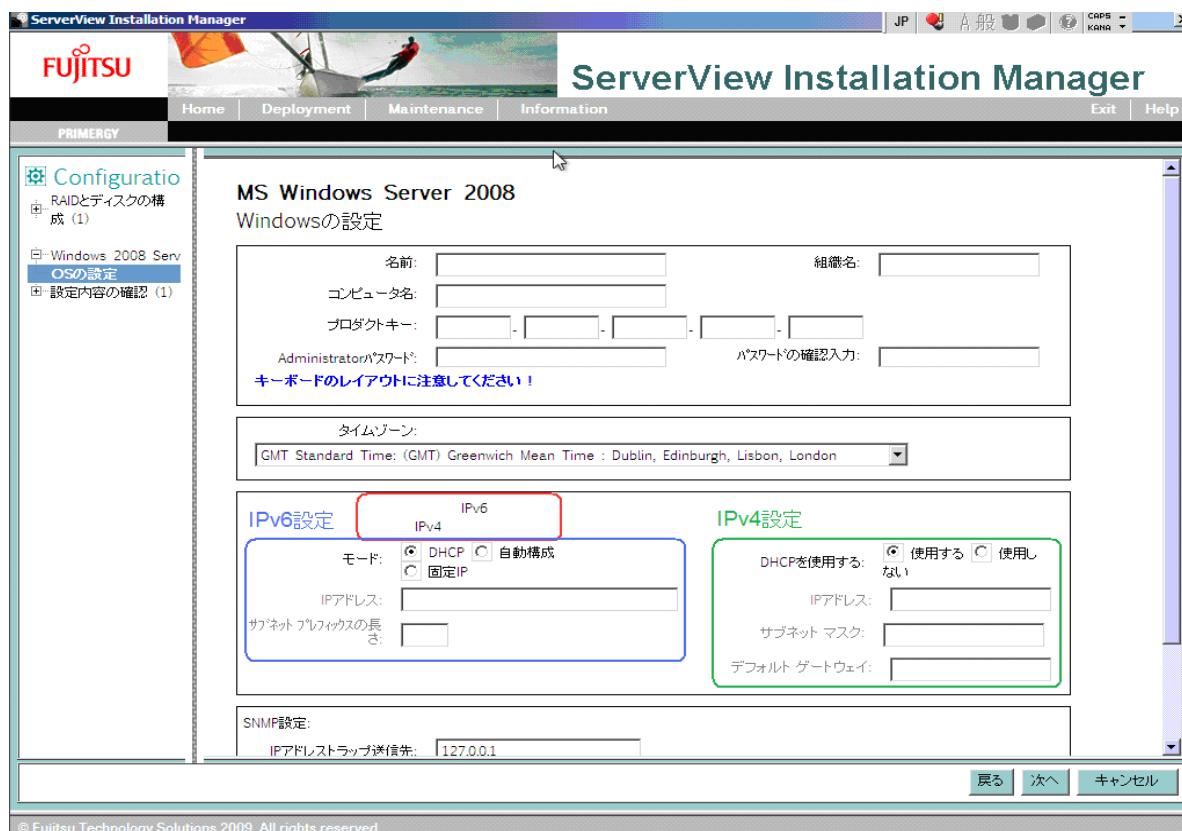
下図のように、C ドライブのルートに移動し、”del c:\atlogoncnt0.reg”を実行する。

```
C:\Documents and Settings\Administrator>cd\

C:\>del c:\atlogoncnt0.reg
```

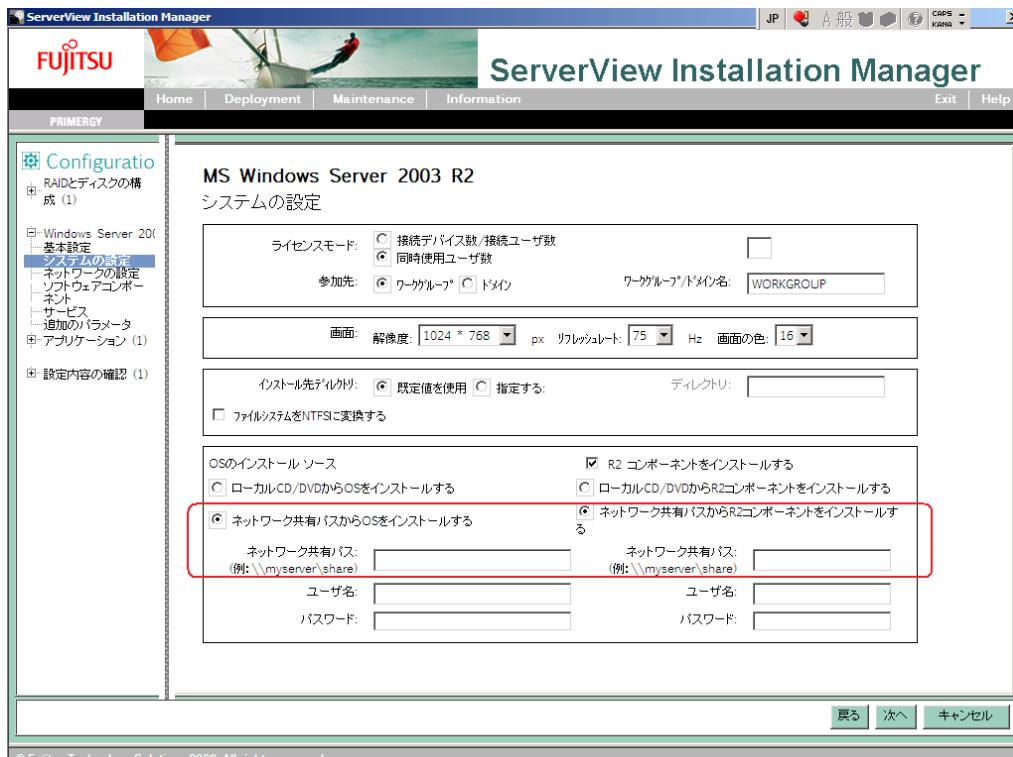
(4) Windows Server 2008 インストール(クイックモード)の IPv6、IPv4 の表示がずれている

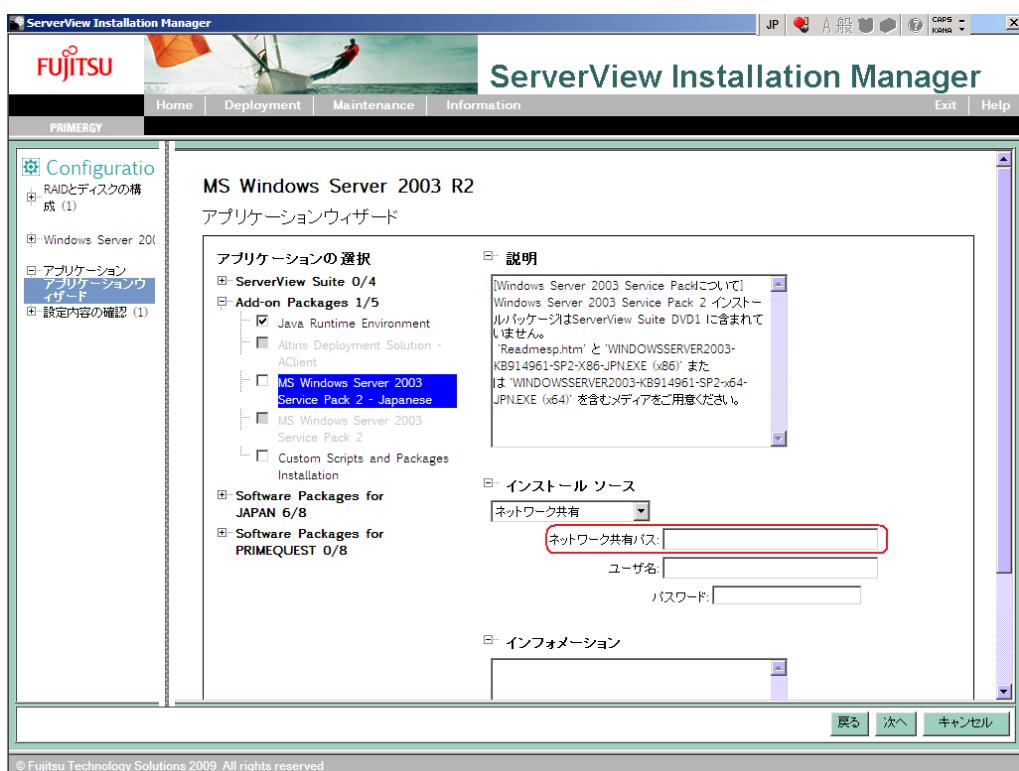
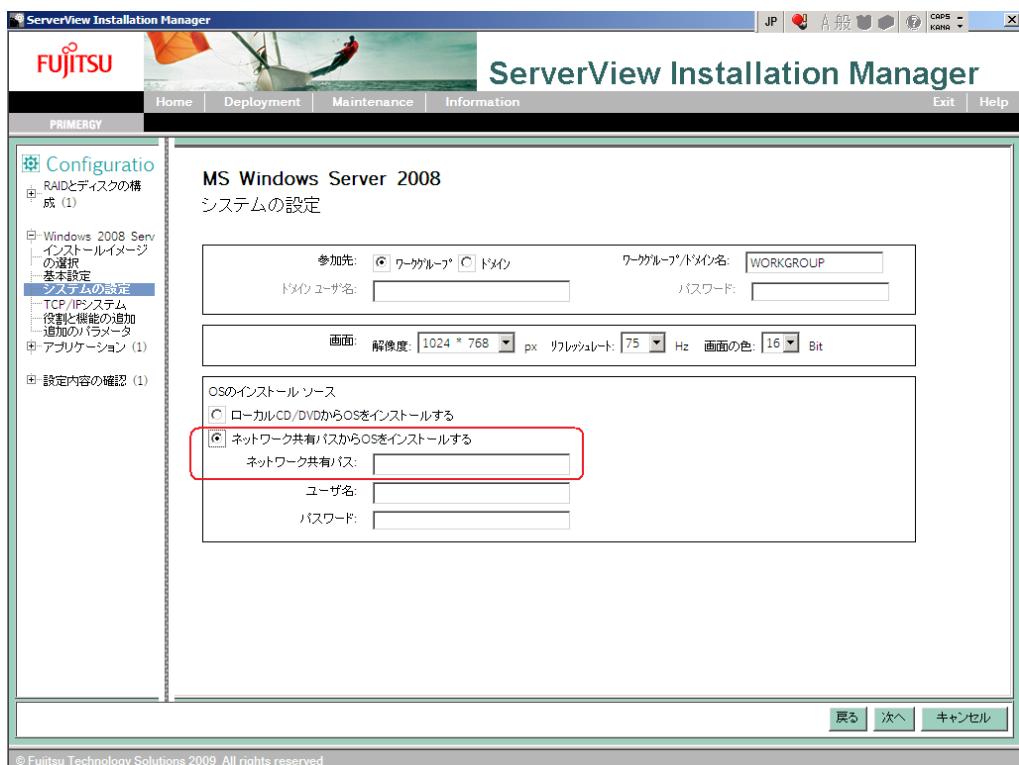
SVIM クイックモードを使用して Windows Server 2008 をインストールする場合に、下図赤枠内の IPv6、IPv4 の表示がズれて表示されていますが、青枠で囲まれた領域が IPv6 用設定部分、緑枠で囲まれた領域が IPv4 用設定部分となっています。



(5) ネットワーク共有パスに日本語を入力することができません

ネットワーク共有パスに日本語を入力することができません。





(6) プロダクトキーの再入力画面が表示された場合、再度プロダクトキーを入力してください

Microsoft メディアを使用する場合、OS インストール中にプロダクトキーの再入力を求められる場合があります。
入力画面が表示された場合、再度プロダクトキーを入力してください。

(7) デプロイメントサーバでは ServerView Suite DVD 1 に含まれる Python をご使用されることをお勧めします

PXE モードで使用するデプロイメントサーバ上で、ServerView Suite DVD 1 に含まれる Python 以外をご使用される場合、問題が発生する可能性があります。ServerView Suite DVD 1 に含まれる Python をご使用されることをお勧めします。

(8) 注意事項への更新事項

SVIM の「Information」—「注意事項」を選択して表示される注意事項の更新事項です。

訂正

4. インストールデータにネットワーク経由でアクセスする場合、インストールに時間がかかる場合があります。(1.5 h 以上)

誤) ServerView IM は MS Windows PE 2.1 プラットフォームを使用しています。

サポート技術情報によると MS Windows PE 2.1 は MS Vista と同等と記述されています。

正) ServerView IM は MS Windows PE 3.0 プラットフォームを使用しています。

サポート技術情報によると MS Windows PE 3.0 は MS Windows 7、MS Vista と同等と記述されています。

訂正

1. MS Windows Server 2008 - インストールディスク (x64 版, Service Pack 2 未適用, R2 は対象外)のサポート

誤) 1. MS Windows Server 2008 - インストールディスク (x64 版, Service Pack 2 未適用, R2 は対象外)のサポート

MS Window Server 2008 インストールディスク をご使用の場合、MS Windows PE 3.0 (ServerView Installation Manager のプラットフォームオペレーティングシステム) と MS Windows Server 2008 x64 エディション Service Pack 2 以前 の間に非互換があるため ServerView Installation Manager を使用してインストールすることができません。

正) 1. MS Windows Server 2008 インストールメディア - Fujitsu Operating System Recovery DVD (x64 版, Service Pack 2 未適用, R2 でない)のサポート

Fujitsu Operating System Recovery DVD をご使用の場合、MS Windows PE 3.0 (ServerView Installation Manager のプラットフォームオペレーティングシステム) と Service Pack 2 以前の MS Windows Server 2008 x64 エディション の間に非互換があるため ServerView Installation Manager を使用してインストールすることができません。

注意!!

・本項は、Fujitsu Operating System Recovery DVD の Service Pack2 以前の x64 エディション ("cross platform installation media") に適用されます。

・本項は、一般的に "cross platform installation media" に適用されます。

"cross platform installation media" は、セットアップフレームワーク (→Setup.exe) とオペレーティングシステム (→WIM ファイル) が異なるアーキテクチャ (→x86 と x64) で構成されています。

(9) SVIM をアンインストールする場合、Apache Web サーバも同時にアンインストールされます

SVIM をアンインストールする場合、Apache Web サーバも同時にアンインストールされます。

Apache Web サーバをアンインストールせずに、SVIM だけをアンインストールしたい場合、

コントロールパネルから以下のプログラムをアンインストールしてください。

Fujitsu ServerView Installation Manager

Fujitsu ServerView Installation Manager Data Packages Vxx.xx.xx

Fujitsu ServerView Installation Manager PXE Server

ただし、ServerView Deployment Manager をご使用中の場合、SVIM をアンインストールすると、リモート OS セットアップ や WinPE 環境ベースのデプロイメントなど、ServerView Installation Manager を必要とする機能が使用できなくなります。 詳細は、ServerView Deployment Manager のマニュアルを参照してください。

また SVIM をインストール後に、ServerView Deployment Manager をインストールした場合、SVIM アンインストール時に、これら2つのプログラムで共有している PXE Server がアンインストールされます。そのため、「Fujitsu ServerView Installation Manager PXE Server」をアンインストールしない、もしくは Deployment Manager を再インストールしてください。

(10) 「スタートアップディスク」は「ServerView Suite DVD1」と読み替えてください。

SVIM ご使用中の画面に表示される「スタートアップディスク」は、「ServerView Suite DVD1」と読み替えてください。

(11) Server Configuration Manager 起動時の警告メッセージについて

Server Configuration Manager 起動時に、下記のようなデジタル署名に関する警告メッセージが表示される場合があります。

警告メッセージが表示された場合は、「この発行者からのコンテンツを常に信頼します。」にチェックを入れて、

「実行」を選択してください。

これらの警告メッセージが表示されても動作的に問題はありません。



(12) SVIM を使用して Windows Server 2008 をインストールする場合、ボリュームラベル名に日本語を入力することができません

SVIM を使用して Windows Server 2008 をインストールする場合、ボリュームラベル名に日本語を入力することができません。

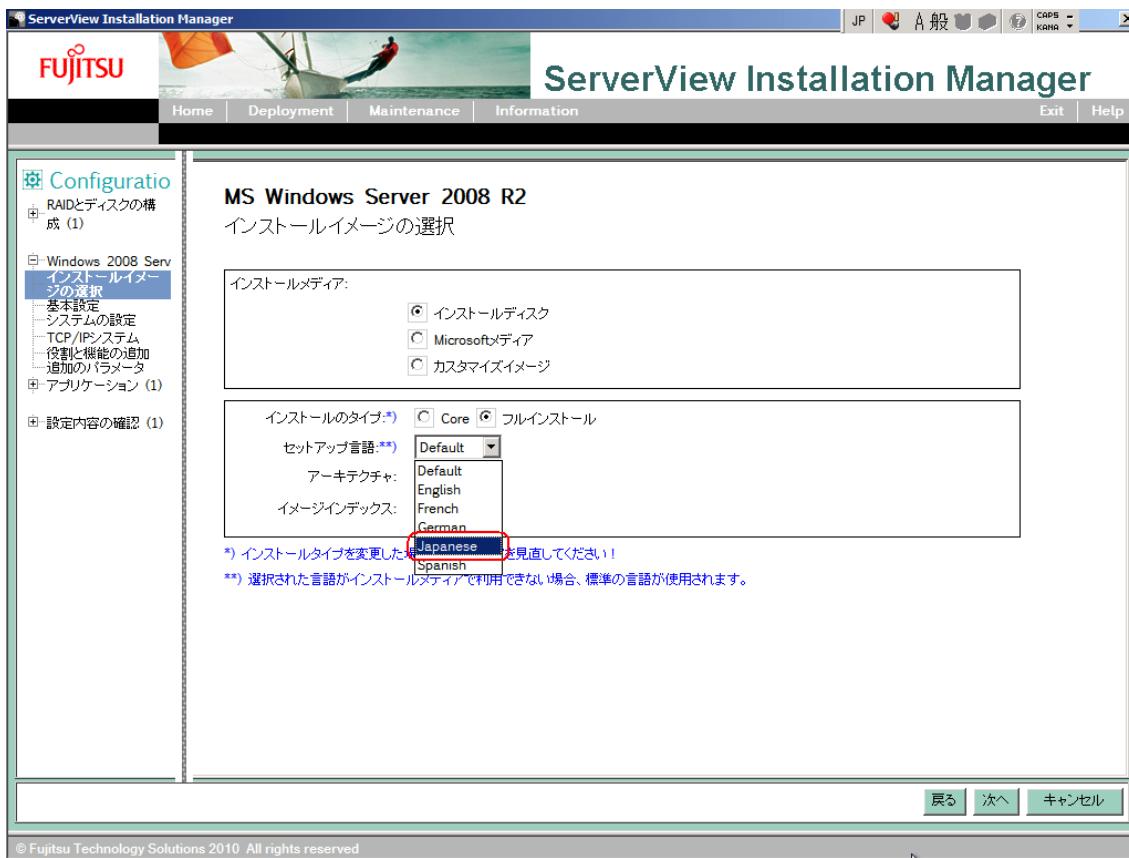
半角英数字で入力行ってください。

日本語でボリュームラベルを入力してしまった場合は、インストール完了後にボリュームラベルを再設定してください。

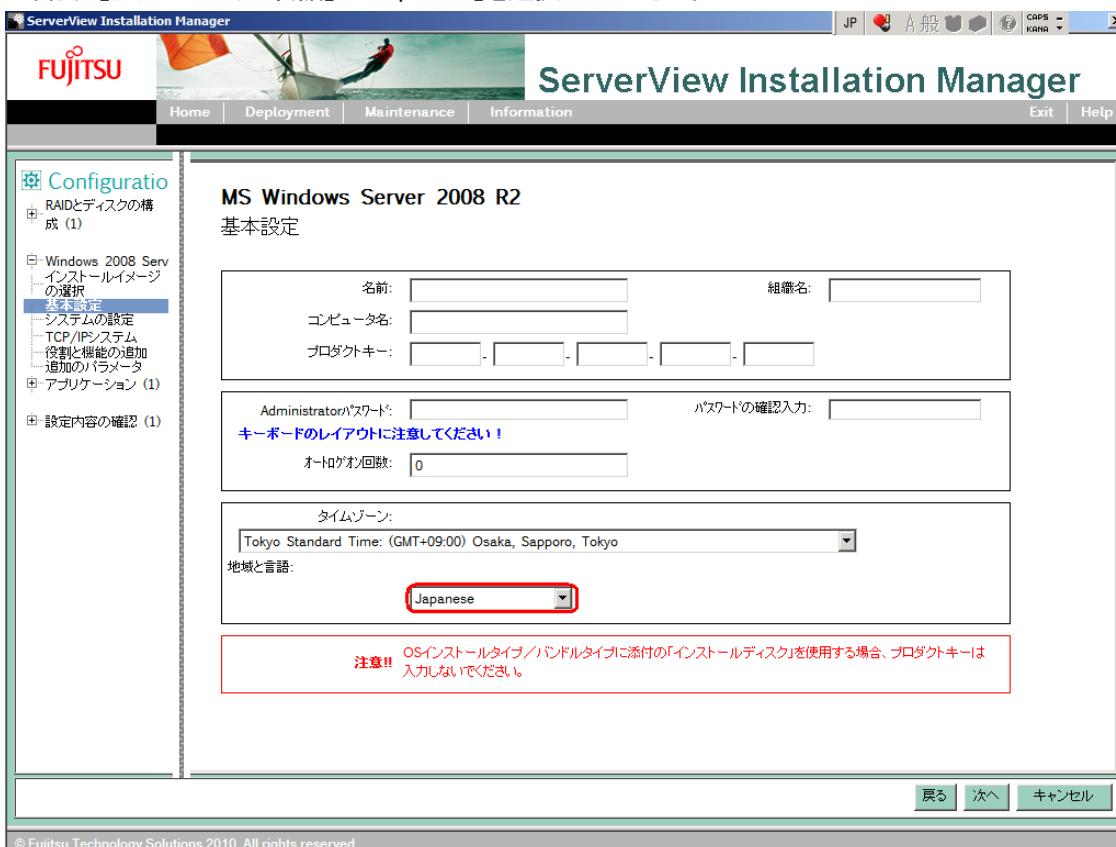
(13) 「Operating System – Recovery DVD Windows Server 2008 R2」を使用したインストールについて

「Operating System – Recovery DVD Windows Server 2008 R2」を使用してクイックモードでインストールを行う場合、インストール完了後、一部のアプリケーションで文字化けが発生する可能性があります。「Operating System – Recovery DVD Windows Server 2008 R2」を使用する場合、ガイドモードで、「セットアップ言語」と「地域と言語」に「Japanese」を設定してインストールを実施してください。

- 「インストールイメージの選択」画面の「セットアップ言語」で「Japanese」を選択してください。

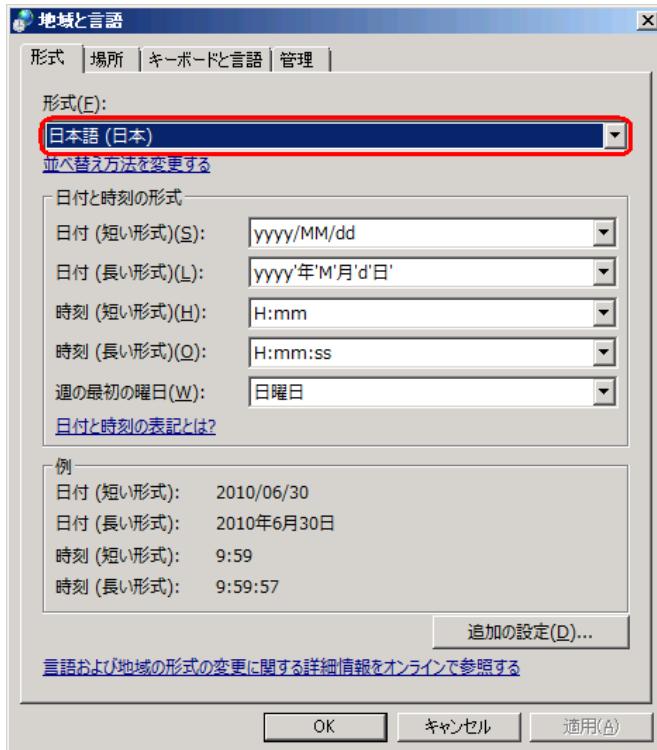


- 「基本設定」画面の「地域と言語」で「Japanese」を選択してください。



クリックモードでインストール完了後、文字化けが発生した場合には、下記手順を行い問題を解消することができます。

- 「スタート」「コントロールパネル」をクリックします。
- 「コントロールパネル」に表示されている「時計、言語、および地域」の「表示言語の変更」をクリックします。
- 「地域と言語」ウィンドウの「形式」タブをクリックします。
- 「形式」を選択し、一度日本語以外の言語を選択した後、「日本語(日本)」に再設定します。



■Update Manager Express の留意事項

(1) Intel_LAN_ProSet が常に更新対象として表示される。

◇現象の概要

Windows Server 2003 上で Update Manager Express を実行すると、既に最新の Intel_LAN_ProSet がインストールされているにも関わらず、下記のように Intel_LAN_ProSet が更新対象として更新リストに表示されます。また、Intel_LAN_ProSet を何度も更新しても、更新リストに表示され続けます。



◇発生条件

以下の環境で、Update Manager Express を起動した場合に発生します。

Windows Server 2003 かつ

ServerView Suite DVD 10.09.12 または Update DVD 10.09.12

◇対処

ServerView Suite DVD 10.09.12(または Update DVD 10.09.12)をご使用の場合は、更新リストに表示されている「Intel_LAN_ProSet」は無視してください。既に最新の Intel_LAN_ProSet がインストールされているため、更新する必要はありません。

◇対象機種

以下の機種で発生することが確認されています。

TX150 S7

RX100S6

(2) WinPE 環境における制限

ServerView Suite DVD で起動した WinPE 環境では、プログラムの制限により、一部のハードウェア (SCSI Controller など)において、以下のような現象が発生致します。

- サーバに搭載している装置の現在のファームウェア版数が取得できない。
- サーバに搭載していない装置のファームウェアが、更新リストに表示される。

(RX100S6 で現象発生時の画面サンプル)



起動し、BIOS／ファームウェアの更新処理を行うことを推奨致しております。

(3) Windows ドライバ更新機能

Update Manager Express には、Windows OS (Windows Server 2003、Windows Server 2008) のドライバ更新機能があります。そのため Update Manager Express を Windows OS 上で起動すると、更新の必要がある BIOS、ファームウェア以外に、更新が必要なドライバも 表示されます。

この Windows ドライバの更新機能は、Windows OS 上で起動した場合のみ使用できます。ServerView Suite DVD で起動した WinPE 環境、Linux 環境ではご使用になれません。

なお、ドライバ更新機能は、次版のマニュアルにて記載される予定です。

また Linux OS のドライバ更新機能は提供しておりません。

(4) Update Manager Express で表示されるドライバ版数

Update Manager Express で表示されるドライバのバージョン情報は、PRIMERGY Support Package (PSP) のバージョンです。更新対象の実際のドライバ版数を確認したい場合、Update Manager Express 上に表示されているバージョン欄のリンクをクリックする、もしくは DVD 内の PSP_Readme.htm に記載されているドライバ情報を参照してください。

(5) FSC_SCAN について

Windows OS 上で Update Manager Express を起動すると、「FSC_SCAN」というモジュールが、更新対象として表示される場合があります。

このモジュールは、Update Manager (Update Manager Express ではありません。) で使用するモジュールです。必要に応じてインストール してください。

■著作権および商標

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2010

以上